

宇野中学校・玉中学校・日比中学校 再編準備委員会 第4回学校運営部会 会議録（要点筆記）

■ 日 時 令和8年4月16日（木）14：00～16：00

■ 場 所 宇野中学校会議室

■ 出席者 ○部会委員

栗林太一郎部会長

入口大志副部会長

森裕司委員

的場佳代委員 安東和伸委員

三澤敏之委員 須藤由美江委員

（欠席者：藤田直也委員）

○事務局

学校再編推進課参事 清山智保 主査 谷晃次郎

■ 傍聴者 ー

1 開会

2 議事（要綱第8条に基づき、栗林部会長が議事進行を行う。）

（1）進捗状況の確認

部会長： 前回の会議後の進捗状況について確認する。まずは事務局から何かあるか。

事務局： まずは統合前の交流活動とバスの体験乗車の日程については、決まったか。前回会議では、1回目が2学期頃でまだ未定ということだったが、まだ決まっていないようであれば、バスの手配等があるので、次回の学校運営部会開催時までには日程を教えてほしい。

部会長： 確認だが、スクールバスを整備するということで、正式なルートを通して、正式な時間で宇野中に来るということか。

事務局： 体験乗車を絡めて交流活動を実施する場合、おそらく3回目がそのパターンになるかと思う。1回目の時にはまだバスが納車されていないと思う。その時には借り上げバスの手配をするという形になる。2回目の未来プロジェクトの時にも借り上げバスを手配し、玉中・日比中の生徒は宇野中へ移動してもらうことを考えている。11月17日は、13時10分までに学校着と聞いているが、そのくらいの時間帯での手配でよいのか。

部会長： それぐらいに着くとよい。

事務局： バス担当の教育総務課の方にその旨を伝えておく。

続いてメモリアルスペースの保管物品について、校旗や校章のマーク、学校名の銘板など、歴史的財産として残しておいた方がよいものが、どのぐらいあるのか。特にトロフィーや賞状といったものは大量にあると思うので、取捨選択する必要がある。5月末までにリストアップしてもらいたい。

部会長： 承知した。

- 委員： 同じジャンルの物品を３校で残していく感じか。
- 事務局： そのほうがよいと思っている。
- 委員： 中央中に公式に残すものと、記念で残したいものをそれぞれ保管できる場所はあるか。今の学校は跡地利用の関係で難しいと思うが、保管場所が気になる。今後指示をもらいたい。
- 事務局： 残したいものの分量や内容により、どのぐらいの保管場所が必要かわかるので、何を残したいのかをまず知りたい。
- 委員： 量的にどこまで残していいのか。
- 事務局： スペースの面でいうと、宇野中学校で倉庫等が確保できるのであれば、その面積の中で収まる分量にする必要がある。
- 委員： 旧購買前に倉庫が２つあり、１つは使用中だがもう一方はあいている。広さはあまりないが収納しておくだけであれば十分だ。教室は全て使うので難しい。
- 事務局： 他校の例でいうと各学校のスペースを取って、銘板や校旗を展示する場所を設けているが、新たに作るのは難しい。倉庫で保管しておき、必要時にそこから出して展示するといった形が望ましい。頻繁に玉・日比地域の人が見に来ることは想定できないと思う。例えば各中学校の卒業生が校旗や銘板を貸してほしいとなった場合、保管場所がわかればそこから貸し出しができるような形でもよいのではないか。
- 委員： 倉庫にしまっておくだけでは残す意味がないと思う。残すのであれば３校の歴史等を見せる場が必要である。
- 委員： 校旗は掲揚しておく感じか。
- 事務局： できる範囲でやるしかない。壁面を使えるのであれば、そういう形でよいと思う。卒業アルバムや銘板や校旗以外の物で残す理由としてどういう理由があるかにもよる。歴史を感じるため展示した方がよいのであれば、校旗と銘板、航空写真などがあると思う。
- 委員： 閉校に伴い、卒業生も保護者も地域住人も学校への思いが強くあるので、思いは大切にする必要はある。そのためにできること、できないこと、できなければどうすればよいのか考えてほしい。
- 事務局： 宇野中学校として、どこのスペースなら展示コーナーを確保できるか検討していただきたい。先程のアイディアも１つあるし、玄関のケースのトロフィーを移動し、そこに３校分を展示するのはどうか。
- 部会長： 過去の優勝旗等は整理してスペースを空ければ３校分の校旗なら置けるし見応えはあると思う。プレートでケース入りのものは、置いて展示することも可能である。
- 事務局： 校銘板など、何を取っておきたいかである。地域として残しておきたいものはリストアップしておいてほしい。様式は作成し、提出日等を設定し依頼させてもらう。

(2) 統合後の部活動について

部会長： それでは、次の統合後の部活動について事務局から説明をお願いします。

事務局： 現6年生に対してどういう部活があるのか、早めに知らせておいた方がよいと考えている。山田中・東兎中は野球とソフトテニスと卓球の3つにする決まった。中央中は今の宇野中学校にあるものを全部引き継ぐ形で良いのか。

部会長： 宇野中にない部活がある学校はないので問題ない。

(3) 再編に向けた保護者説明会の日程について

部会長： 続いて再編に向けた保護者説明会の日程について事務局から説明をお願いします。

事務局： 新1年生向けの入学説明会は例年通り1月か2月に実施するという事だと思うが、統合するにあたり新2・3年生の保護者も不安に思っている人があると思う。そのような保護者向けの説明会を10月か11月に実施したいと考えている。保護者説明会では、学校生活のことも説明する必要があると思うので、学校側からも出席をお願いしたい。現在事務局で考えているのは、玉中・日比中の保護者向けに、会場としてすこやかセンターと、ミネルバの2カ所、夜の開催を考えている。その2回に学校の方からご出席いただき、学校生活について説明してもらいたい。

委員： 新入生説明会の冊子をそのまま転用したらよいと思うが、冊子を作るのに校則の見直しや、生活の決まりなどを決めていくため10月には内容が決まりそうにはない。10月というのは難しい。

事務局： どのぐらいのタイミングで出来上がるか。

委員： 2月の終わりに向けて新入生説明会の冊子を作る。大体、1月初旬ぐらいに各部署から案が出てきて、その案を統合し冊子を作るという感じだ。

事務局： その時期の実施となると、少し遅いように感じる。

委員： 分けてやるのはどうか。そうすると、意識的に事務局と学校に聞くことが分けれる。通学のことや、大卒のことは事務局に聞いてもらい、学校の細かいところは中学校に聞いてもらう。

委員： 学校生活については2月上旬か1月下旬に少し前倒しできたらよい。

事務局： 学校生活の部分を学校の方でやってもらえるということであれば、事務局は事務的な説明のみ行うということではよい。

委員： その方がいいのではないかと。混ぜると混乱する。

事務局： 了解した。

委員： 説明会の開催は夜なのか。学校は昼開催しかできない方がいいのか。

事務局： それは仕方がない。事務局は保護者が参加しやすいように、夜開催、2回実施と考えているが、学校は学校の事情に合わせて開催してもらってよい。また部会で決めた内容については、事前説明会の方でも説明できるので、そちらを聞けば学校主催の説明会は参加できなくても、ある程度はわかるよう

にする。

委員： 冊子を見たら学校生活をすでに送っている生徒、保護者なら大体わかる内容になっているので、あとは個別に聞いてもらうのがよい。

事務局： 冊子は事前に個別配布されるということか。

委員： そうだ。

委員： 説明会に参加できない保護者については各中学校から説明をすることになるか。

事務局： 学校主催の説明会不参加者の個別対応は学校に任せる。

委員： 事務局が実施する説明会は新２・３年生向けのものか。新１年生は対象か。

事務局： 新１年生の保護者も対象とする。対象を絞るわけではない。案内は６年生と１・２年生に行う。玉中・日比中の保護者が中心だが、宇野中の保護者にも案内は行う。

委員： １月下旬から２月上旬に、宇野中で行うのは新１年生の保護者説明会と同様に、新２・３年生の保護者も参加できると思っていいか。

委員： そうなるのではないか。

事務局： 先程の話だと、タイトルは新入生入学説明会だが、新２・３年の保護者にも学校生活に関する説明は必要なので案内はするが、参加するかは自由。不参加の場合、それぞれの学校から説明会資料等を渡し、説明を簡単にしてもらえという解釈をしている。

委員： 本来、各学校が行っていた新入生保護者説明会を玉中・日比中の新２・３年生の保護者にも案内するということか。

部会長： そういうことだ。

委員： 新入生説明会と２、３年生は分けて実施した方がよいのではないか。

委員： 早めに実施した方がよいと思う。保護者の中にも不安に思っている人がいる。事務局主催の説明会は基本的に玉中・日比中の保護者に向けてと理解する。

事務局： 対象のメインはそうだが宇野中の保護者にも案内はする。指定校変更で宇野中学校に通学している生徒の保護者がいるので、通学の手段等が気になっている人もいるはずだ。参加するかどうかは自由である。

部会長： 整理すると、事務局が主体でやる１０月か１１月開催の保護者説明会は、宇野・玉・日比の全保護者に対して案内をする。新１年生にも案内をする。そこでは必要な手続きの話や、変わることを伝える。学校生活の決まりごとなどの部分は、２月に学校で行う新１年生の入学予定者説明会時に行う。新２・３年生の玉中・日比中の保護者に向けても説明会は行う。開催方法は別途検討することでよい。

委員： 一緒に実施する方がよいのではないか。

部会長： 新入生として中学校生活に対して何もわからない状態で入ってくる状況で話をするのと、中学校生活を体験していて、学校が統合するということで

説明の仕方も変わってくる。同じ日だと難しいのではないか。

委員： 保護者からの質問も全く違う質問が来る。やはり新1年と新2・3年は別日の方がよいと思う。

委員： 説明が何もなかったと言われないように、機会はきちんと設けて説明しましたと言わなくてはいけない。

(4) 閉校式について

部会長： 続いて閉校式について事務局から説明をお願いします。

事務局： **【事務局から説明】**

当日の大まかなスケジュールについて、懸念点はあるか。

委員： 人数が多いので、距離は近いが乗り込み時間を考慮してもらいたい。

事務局： 会場の生徒の動線についてはどうか。

委員： 別室の生徒は、友達と一緒にフロアは苦手だが、行きたい気持ちはある。そういった場合2階など違う場所にて参加は可能か。

事務局： 配慮した席を別に設けるのは可能だ。場所については相談させてもらう。

委員： バスは同じ1台を同じ学校で使えるのか。会場近くに住んでいる生徒は学校に戻らずそのまま現地解散したい。そのためバスの中に荷物を置いたままにできるとありがたい。

事務局： それは可能だ。行きだけ乗車の生徒がいるということか。

委員： そうだ。その他の生徒は帰りも発着場所解散でよい。

委員： 他の学校も現地解散で帰りたいという生徒がいるかもしれない。

事務局： そこは臨機応変に、学校の方で管理してもらえればよい。

続いて、学校長代表挨拶について、校長先生に登壇いただき、代表で1名が挨拶するということで考えているがよいか。それとも全員で段取りを分けてやるのかその辺りを5校長で相談して決めていただきたい。

部会長： 校長会で相談する。

事務局： 続いて、生徒代表挨拶について、各校1名の生徒会の生徒を想定しているが、また、校旗返納についても別に1名生徒代表を選出し、合計2名を各校で選定してもらいたい。

部会長： 了解した。適任者を選出する。

事務局： 生徒代表挨拶の中でモニターに動画とスライドを組み合わせた映像を上映することを検討している。内容としては、平成初期から現在までの学校の歴史を振り返るもので、校舎の様子、行事、学校生活の写真などを用いる予定である。写真素材については、各校30枚程度を目安としたい。データがあればデータ提供が望ましいが、難しい場合は卒業アルバムを預かり、スキャンングで対応することも可能である。アルバムには付箋等で該当箇所が分かるようにしてもらい、アルバムごと貸与いただきたい。

委員： 卒業アルバム原本の提出のほうが良いか。

事務局： 業者がスキャンングするので、原本の方がよい。夏頃を目安に提出してほ

しい。必要であれば取りに行くのでご協力いただきたい。また、スライドを写しながら校歌を流すことを考えているが、一枚あたりの表示時間については枚数が増えれば切り替え速度で対応できる。校歌については、音源のみ、歌入りなどのＣＤやテープ、デジタル音源があれば提供してほしい。

委員： 確認しておく。

事務局： 会場に来られない生徒への配慮としてオンライン配信を行うことは問題ないか。

部会長： 特に問題はない。

3 閉会